

# 教育事業別報告書

事業名	なすかしの森サイエンス・キャンプ	
趣 旨	なすかしの森での体験活動を通じて家族のふれあいの場や、家族同士の交流の場を提供すると共に、「宇宙と天体」や「気象」をテーマに子供たちに科学的な視点で自然を観察することの面白さを知ってもらうことを目的とした。	
期 間	第1回：平成28年1月30日（土）～1月31日（日）	1泊2日
	第2回：平成28年3月 5日（土）～3月 6日（日）	1泊2日
募集人員 (募集結果)	第1回：幼児、小・中学生を含む家族34名	
	第2回：幼児、小・中学生を含む家族23名	
① 事業の特色		
<p>第1回は「宇宙と天体」をテーマに行った。国立天文台から臼田-佐藤 功美子先生を招聘し、1日目は講演と分光器を用いた「光」に関する実験を行った。また夜は天体観測を行い実際に自然の中で科学を学ぶ楽しさを体験してもらった。2日目は、「宇宙人を描こう」をテーマに地球外の生命体について科学的な視点をもったスケッチのワークショップを行った。参加者からは「実験や観察を通じて宇宙や天文に関する理解が深まった」との感想を頂いた。</p> <p>第2回目は「気象」をテーマに福島大学渡邊明先生を招聘し講義・実験を行った。1日目は「雪の結晶」を題目とし、折り紙を使った雪の結晶の作成、ペットボトルで雪の結晶を実際に作る実験、雪崩のながれ方の観察を行った。また夜プログラムでは館内を使った「お天気クイズラリー」を行った。2日目は野外活動として、積雪層の構造及び雪崩の起きやすい積雪層の観察を行った。</p>		
		
	【第1回 天体観測】	【第1回 分光器：クラフト】
		
	【第2回 雪の結晶づくり】	【第2回 積雪層の観察】
② 事業の成果と課題		
<p>〈事業の成果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宇宙や天文から「光」などの様々な科学の要素を盛り込んだプログラムだったことから、子供たちの興味関心に多方面からアプローチできた。</li> <li>・参加者の子どもからは「雪の結晶づくりが大成功して楽しかった」、保護者からは「専門の先生のお話を聞くことができ、子どもに体験させることができ良かった」という満足の声が多く聞かれた。気象について興味・関心を持たせ、さらに家族間のコミュニケーションを深めることができた。</li> </ul> <p>〈事業の課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定員に達しなかったため、今後広報の方法についても検討が必要である。</li> <li>・委員の方との連携を密にとる必要がある。（広報活動や当日活動参加など全体的に連携してもらう。）</li> </ul>		
③ その他		
特になし		